歴史

進め方の例

【例】中学校歴史教科書P６２「海をこえてせまる元軍」

　　　資料として、教科書と資料集「みつけよう、はてな？と！びっくり歴史資料」（とうほう）を用いた場合

**STEP１．教科書P６２の学習課題を書き写す**

**【学習課題】**

蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響をあたえたのでしょうか。

STEP２．学習課題に対する自分の予想を書く

**【予想】**

・大規模な激しい戦いで、御家人たちが知らない武器や戦術などが使われたのではないか。

・勝利したのであれば、幕府と御家人の関係はより深まったのではないか。負けたらその逆で幕府は信頼を失ったのではないか。

STEP３．学習課題に対して、教科書と資料集等を用いて、調べたこと書く

**出典**　　**【社会的な事実】（学習課題に対する調べ内容）　　　　　　【社会的な事実に対する考え方】（思ったこと）**

　　　　　　**〇どんな戦いであったか**

・幕府軍は、「てつはう」や毒矢、集団戦法など、今までと違う元軍の戦いにとても苦しめられた。

・暴風雨もあったが、幕府軍が元軍の１度目の襲来の経験を活かし、戦術の変更や上陸を防ぐために防塁を築くなどの対策をしたことが、元軍を撃退する要因となった。

・承久の乱では、上皇側に味方した貴族や武士の土地が恩賞として与えられたが、元寇ではそうはいかなかった。同じ戦いでも国内での争いと外国からの防衛になると、結果が違うことが分かった。

・1274年、元軍が九州北部に押し寄せた。（文永の役）

・集団戦法と武器におされ、幕府軍は苦戦した。

・てつはうの音が大きく馬が動けなくなった。

・毒矢を使用した。

・元軍は日本戦いのように1対1ではなく大勢で集まって戦ってきた。

・暴風雨の影響があり元軍はすぐ引き上げた。

・1284年にふたたび元軍の大軍が九州北部を襲ってきたが防塁にはばまれて上陸できず暴風雨で壊滅的な打撃を受けて引き上げた。（弘安の役）

**〇幕府と御家人の関係にどんな影響を与えたか**

・御家人は恩賞を期待して、元軍と戦ったが、防衛戦であったために、恩賞の領地を十分に与えることができなかった⇒御家人の心が離れていった。

・徳政令も一時的な効果しかなかった。

～スペースの関係で以下省略～

教P６２

資P６０

教P６３

教P63

資P６１

STEP４．調べたことについて思ったこと、分かったことを書く

**【まとめ】**

二度の元軍の襲来において、御家人たちは「てつはう」や「集団戦法」に苦労しながらも、懸命に戦い撃退することができた。しかし、その後、幕府は御家人に十分な恩賞を与えることができず、関係は悪化した。

STEP６．わからなかったことなどを書く

STEP５．学習課題について調べたことをまとめる

**【調べても残った疑問（わからなかったこと）、新たに生まれた疑問】**

〇集団で戦う方が相手を倒しやすそうなのに、なぜ日本では1対1の戦いが主流であったのだろうか。